



ムラサキゴテン 花言葉：誠実、変わらぬ愛

四万十川ニュース

Vol.87

中村河川国道事務所 平成25年8月23日

水生生物調査

7月の河川愛護月間の一環として、毎年、四万十川・中筋川・後川の3箇所で、水生生物を指標とした水質簡易調査を行っています。今年は天候に恵まれ3会場全てにおいて予定どおり調査を行うことができました。調査は4つの小学校の児童約80人に協力してもらい、川の中にどのような生き物が生息しているのか、川の水の状況はどうかを調べてもらいました。調査の結果は、四万十川、中筋川、後川ともに「ややきれいな水」で特に四万十川では「きれいな水」の生物と「ややきれいな水」の生物が同じ程度みつかり、僅差で「ややきれいな水」となりました。今後も河川への関心を持ってもらい、よりよい川になるよう呼びかけを行いました。



水生生物採取状況



観察状況

「親子水難事故防止教室」開催



7月28日(日)に、四万十市の赤鉄橋(四万十川橋)上流左岸側の河原で、小学生とその保護者や関係者総勢約50名が参加し「親子水難事故防止教室」が開催されました。平成22年から開催し今年で4年目となります。地元防災関係機関(水難事故防止連絡会)と「四万十川水中探偵団」(四万十川流域住民ネットワーク)が連携し、川で遊ぶ楽しさを体験しながら、水難事故から身を守る方法について親子で学習しました。小学生を対象とした、身近なペットボトルを使った浮力遊泳や、服を着たまま泳ぐ着衣遊泳を体験し、箱メガネによる水中調査や、カナテイアン・カヌーを使っての「組み立て式飛び込み台」からの飛び込み、カヌー、水中宝さがしなどを実施しました。特に出張所(四万十川+後川)が作ったカヌーを使った飛び込み台は大人気で大きな歓声が上がっていました。大人向けには消防署によるAED講習会や、警察署による発射銃及びロープによる救出デモの披露が行われました。天気にも恵まれ、メニューが盛りだくさんで、子供達は川で遊ぶ楽しさと身を守る術を学ぶことができました。

20年前のタイムカプセル開封！！

中筋川ダムのコンクリート打設完了を記念して、平成5年11月15日(月)に地元の平田小学校と三原小学校の全児童に「20年後のきみとほくに」と題してタイムカプセルを埋めてもらいました。そのタイムカプセルが今年20年を迎え、平成25年8月14日(水)に当時の児童(平田小学校32名、三原小学校21名)、先生方など合わせ約100名の参加によって開封式が行われました。開封式には暑い中、子供を連れて抱っこしたお母さん、出産間近のお母さん、子供の代理で出席いただいたお母さんなどが参加し、20年前の作文や旧友との再会を喜んでいました。参加者からは「良かった」「準備がたいへんだったでしょう」「これをきっかけに同窓会をやります」といった声をいただき、大成功のうちに開封式を終えました。



平成5年11月15日



平成25年8月14日



四万十川に関するお気付きの点や、お問い合わせは
中村河川国道事務所 計画課までお願いします。

TEL0880-34-7301

「四万十川ニュース」は、中村河川国道事務所HPにも
掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/index.html>

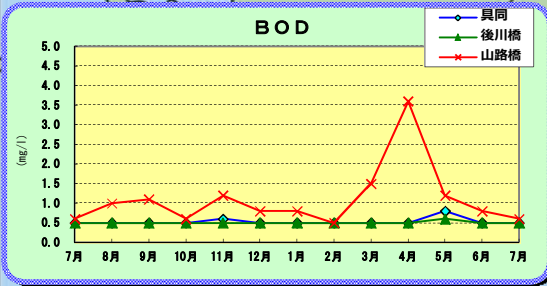
7月の四万十川の様子

四万十川の水質

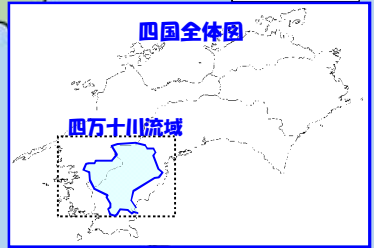
具同観測所
(7月10日測定)

水温	27.5℃
pH	7.8
BOD	0.5mg/l
SS	2mg/l
DO	9.1mg/l
大腸菌群数	790MPN/100ml
流量(日平均)	56m ³ /s

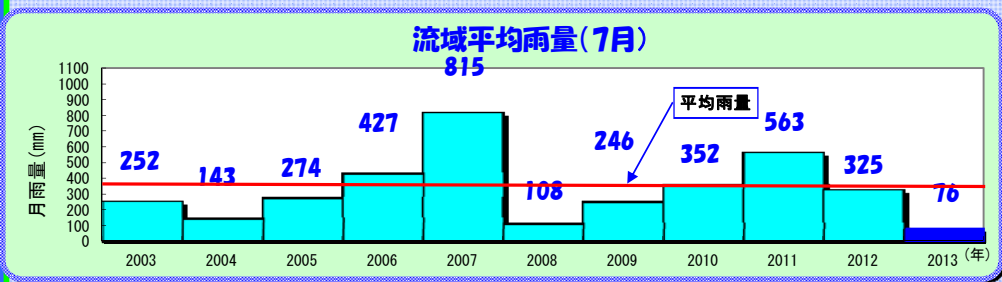
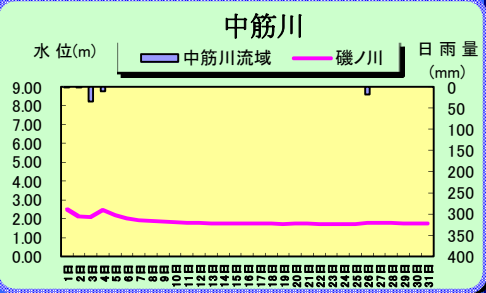
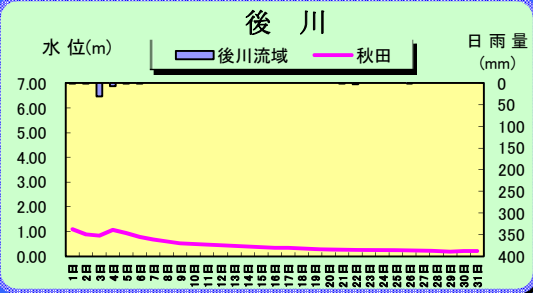
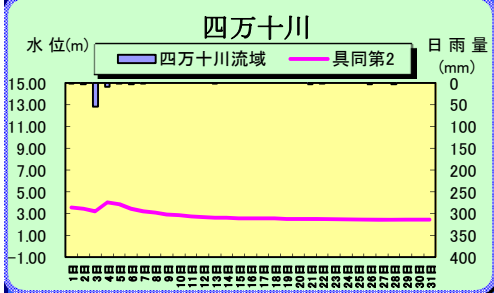
※測定値は全て速報値です



四万十川	1.0mg/l以下
後川	2.0mg/l以下
中筋川	3.0mg/l以下



雨量・水位データ



7月の四万十川流域平均雨量76mmは半年の2割程度の雨量です。
 なお、過去10年間の平均雨量は351mmです。
 ※四万十川流域平均雨量について
 四万十川流域の雨量観測所(18箇所)が流域に占める支配面積の比率により算出した雨量です。
 ※測定値は全て速報値です

四万十川の水位・雨量について

- ・水位・雨量情報電話サービス (0880-34-7321:4回線)
- ・PCサイト「川の防災情報」 <http://www.river.go.jp/>
- ・携帯サイト「川の防災情報」 <http://i.river.go.jp>

川の防災情報 提供 国土交通省河川局